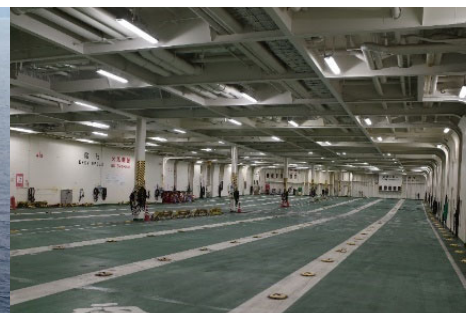


令和5年度災害医療における民間船舶を活用した実証訓練について

「災害時等における船舶を活用した医療提供体制の整備の推進に関する法律」（令和3年6月18日法律第79号）の施行に向け、民間事業者等の災害医療活動についてフィージビリティの検証及び課題の調査・抽出を行うため、南海トラフ地震等の大規模災害時を想定し、民間事業者等の船舶における医療モジュールを活用した実証訓練等を実施。

訓練実施概要

- (1) 日時・場所 11月18日（土）11時～16時@神戸港第三突堤（神戸三宮フェリーターミナル周辺）
 (2) 使用船舶 神戸港に接岸しているフェリーろっこう（14,006t）の車両甲板を使用



船舶の概要

フェリーろっこう（14,006t）	
全長：194.0m	全幅：27.6m
速力：23.1kt	定員：576名
積載能力：12mトラック163台	
8mトラック 2台	
乗用車 81台	

- (3) 参加機関
 医療関係機関 : 日本赤十字社、DMAT、JMAT、AMAT、日本看護協会（計約30名）
 船舶事業者 : 宮崎カーフェリー（株）
 医療資機材等事業者 : （一社）医療コンテナ推進協議会、（株）太陽工業、KDDI（株）
 関係省庁 : 内閣官房 ※希望のあった関係省庁も見学

- (4) 訓練内容
 本年6月に実施した図上訓練での検証結果も踏まえ、医療モジュール等の医療資器材の活用を含む船舶における医療活動について、医療コンテナを含む医療モジュールの船舶への搭載・展開・利用及び撤収等を中心に、患者の乗下船や動線の確認、通信機器の利用等も含め幅広く検証。



訓練の様子

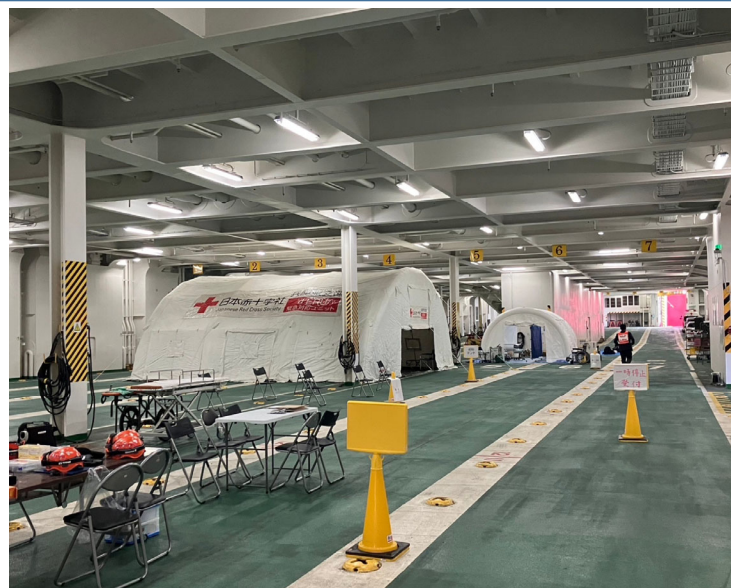
医療モジュールの船舶への搭載・展開・利用及び撤収

○ 訓練においては、dERU※、エアテント、CTコンテナ（40フィート）及び診療コンテナ（20フィート）（内部に透析用の血液浄化装置を搭載）などの医療モジュールについて、搭載・展開・利用及び撤収を検証。

※ domestic Emergency Response Unit（日本赤十字社の保有する国内型緊急対応ユニット）



医療モジュールの搭載



医療モジュールの展開・固縛



CTコンテナへの患者搬送



CTコンテナ内部